

各 位

竹田 i P ホールディングス株式会社
(証券コード 7875)

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算補足資料

1. 情報コミュニケーションセグメントにおける売上高の内訳

	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
印刷事業	4,418	58.3	4,420	57.7	1	0.0
グローバルパッケージ事業	1,644	21.7	1,681	21.9	36	2.2
ロジスティクス (BPOサポート)事業	490	6.5	527	6.9	37	7.6
システム関連事業	216	2.9	176	2.3	△39	△18.3
プロモーション支援事業	804	10.6	855	11.2	51	6.3
小 計	7,575	100.0	7,662	100.0	87	1.2
セグメント内取引消去	△153	—	△207	—	△54	—
合 計	7,422	—	7,455	—	33	0.4

(注) 情報コミュニケーション内の各事業の売上高にはセグメント内取引が含まれております。

2. セグメント別における売上高の内訳

	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
情報コミュニケーション	7,422	44.4	7,455	43.4	33	0.4
内 印刷事業	4,410	26.4	4,411	25.7	0	0.0
内 グローバル パッケージ事業	1,551	9.3	1,527	8.9	△24	△1.6
内 その他	1,460	8.7	1,516	8.8	56	3.9
ソリューションセールス	5,893	35.3	6,356	37.0	463	7.9
半導体関連マスク	3,000	18.0	2,980	17.3	△20	△0.7
不動産賃貸	387	2.3	390	2.3	2	0.6
小 計	16,704	100.0	17,182	100.0	478	2.9
セグメント間取引消去	△539	—	△1,279	—	△739	—
合 計	16,164	—	15,903	—	△261	△1.6

(注) 各セグメントならびに情報コミュニケーション内の各事業の売上高にはセグメント内取引が含まれておらず、セグメント間取引が含まれております。そのため、上記1記載の売上高と相違が生じております。